

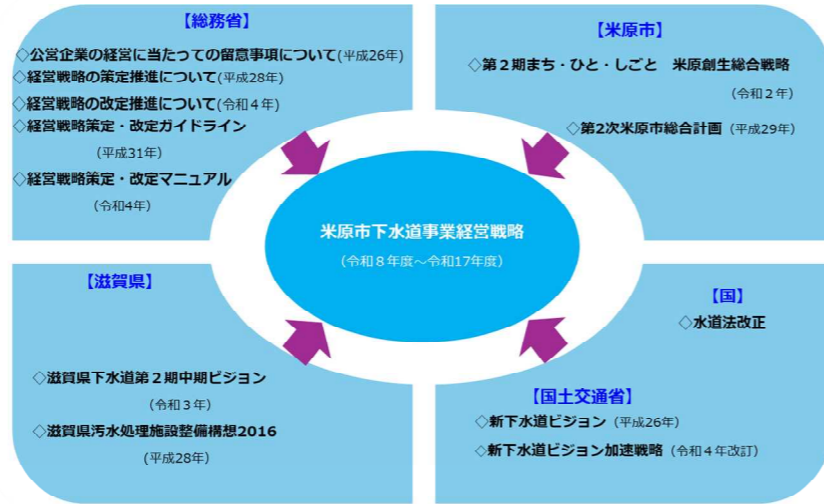
米原市下水道事業経営戦略 概要版（計画期間：令和8年度～令和17年度）

1 経営戦略改定の趣旨と位置付け【第1章】

米原市下水道事業経営戦略を策定してから5年が経過しようとする中、各目標の達成状況と評価結果を踏まえることにより、米原市下水道事業の経営基盤の強化、財政マネジメントの充実に努めていく必要があります。

近年の下水道事業を取り巻く経営環境は、人口減少等に伴って下水道使用料収入が減少していく一方で、下水道施設の老朽化対策や防災・減災対策等の需要が増加することに加え、物価高騰や人件費の上昇が重なることで費用が増加しており、事業経営がより一層厳しくなることが見込まれます。

このような状況の中においても、本市下水道事業の将来の投資と財源を均衡させ、健全な経営を行っていくために必要な取り組みや適正な下水道使用料のあり方を検討し、それを実施していくために、中長期的な経営の基本計画である「米原市下水道事業経営戦略」を改定するものです。本改定にあたっては、国が定めた「経営戦略策定・改定ガイドライン」や「経営戦略策定・改定マニュアル」に基づくとともに、県の上位計画および本市の上位計画等との整合を図っています。



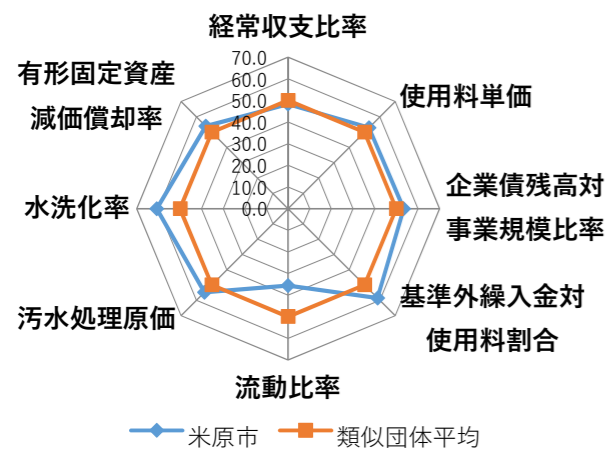
図表1 米原市下水道経営戦略の位置付け

2 類似団体比較と経営上の課題【第2章】

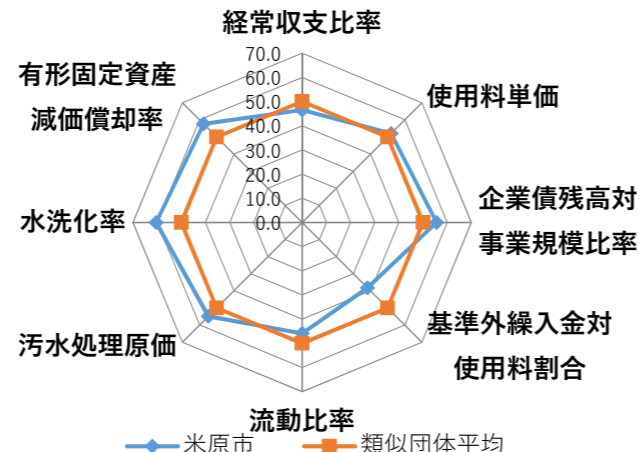
〈公共下水道事業〉

令和5年度末の経営指標に基づき、類似団体と比較分析しました。公共下水道事業では、概ね良好な水準となっていますが、経常収支比率と流動比率は低くなっています。特定環境保全公共下水道事業も、公共下水道事業と同様に概ね良好な水準となっていますが、経常収支比率、基準外繰入金対使用料比率、流動比率は低くなっています。

基準外繰入金については、資本費平準化債の活用により、令和6年度以降は削減される見込みです。流動比率については、突発的な災害等に備えて一定の資金確保が計画的にできるように検討しておく必要があります。



図表2 類似団体との指標比較（公共下水道事業）

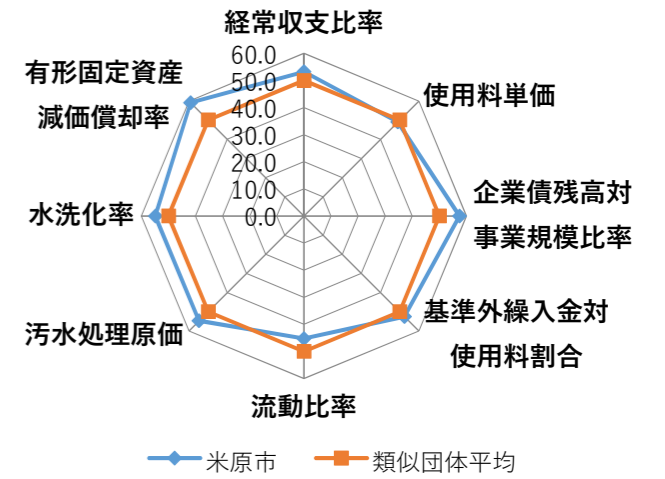


図表3 類似団体との指標比較（特定環境保全公共下水道事業）

〈農業集落排水事業〉

農業集落排水事業では、概ね類似団体平均を上回る良好な水準となっていますが、公共下水道事業と同様に流動比率が低く、一定の資金残高を計画的に確保していく必要があります。

また、終末処理場を設けているため、公共下水道事業に比べて割高な汚水処理原価でありながら、居住地域の違いによって使用者負担に差を設けることは好ましくないとの本市の政策的な判断から公共下水道と統一の使用料体系にしているため、基準外繰入金に依存する経営状態にあります。この基準外繰入金は、本市の政策上必要な繰入金として整理していますが、基準外繰入金に変わりがないため、抑制を図ることが必要です。



図表4 類似団体との指標比較（農業集落排水事業）

3 経営理念と基本方針【第3章】

「強固な経営基盤の確立と安定した下水道事業サービスの提供」を経営理念とし、この理念を実現させるために、以下の通り基本方針と各種取組みを推進していきます。

経営理念	
強固な経営基盤の確立と安定した下水道事業サービスの提供	
基本方針	
強固な経営基盤の確立	安定した下水道事業サービス提供
(1) 基準外繰入金に依存しない持続可能な経営基盤の確立	(2) 市民の快適なくらしと良好な水環境の提供を長期にわたって実現するための基盤整備 (3) 地震や浸水等の災害に強い誰もが安全・安心に暮らせるまちづくりの推進

図表5 米原市下水道事業経営理念と基本方針

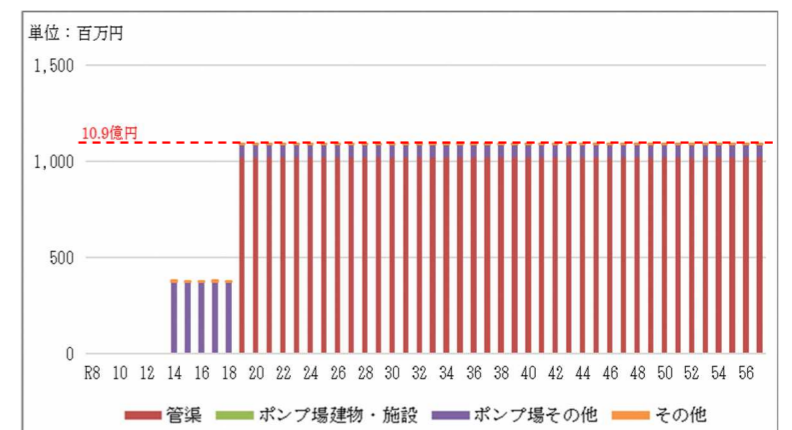
4 投資の見通しと投資の目標【第4章】

〈公共下水道事業〉

当面は、多額の更新投資の予定はありませんが、令和8年度から令和57年度までで総額446億円という試算となりました。投資を平準化した結果、令和19年度以降、毎年10.9億円の投資が必要という見込みとなりました。

〈農業集落排水事業〉

令和8年度から令和57年度までで総額95億円という試算となりました。投資を平準化した結果、令和14年度以降、毎年2億円以上の投資を見込んでいます。



図表6 平準化後年度別投資額（公共下水道）

投資の目標

- 上下水道一体の耐震化計画等の各種計画に基づき、着実な更新投資を実施し、耐震化・老朽化対策を図る。
- 農業集落排水処理から公共下水道への切り替えを計画どおりに進め、計画している接続工事を全て完了させる。

5 財源見通しと目標【第5章】

使用料収入の見通し

人口減少により有収水量が減少することが見込まれますが、公共下水道事業については、農業集落排水から公共下水道に接続することが予定されていることから、本計画期間においては5.8億円～6.0億円で推移していく見込みです。農業集落排水事業については、公共下水道へ接続を進めることにより、0.4億円(令和6年度)から0.1億円(令和17年度)まで減少する見込みです。

企業債・繰入金・資金の見通し

企業債については、当面の間は多額の更新投資を予定していないことから、128億円(令和6年度)から81億円(令和17年度)に減少していく見通しです。繰入金については、資本費平準化債の活用により、政策的な基準外繰入金を除いて、基準外繰入金は発生しない見通しです。資金については、資本費平準化債の活用等により、下水道事業全体で2.7億円(令和6年度)から9.7億円(令和17年度)まで改善する見通しです。

財源試算の目標

将来にわたって安定した下水道事業を維持していくために、右表のとおり目標を設定します。

今後は物価高騰等の影響を受けて、維持管理費が増加していくことが見込まれていることから、過度な繰入金への依存を抑制し、使用料の適正水準を示す指標として「資本費対使用料算入率」を公共下水道事業における財源目標として設定します。

事業区分	財源の目標
下水道事業会計全体	・ 資金残高11億円程度の水準を維持 (経常費用半年分+災害等の予備費1億円)
公共下水道事業 (公共下水道事業+特定環境保全公共下水道)	・ 経費回収率 令和6年度実績水準を維持(98.5%) ・ 経常収支比率 100%以上 ・ 資本費対使用料算入率 15% (国が示す水準である30%の半分)
農業集落排水事業	・ 経費回収率 令和6年度実績水準を維持(65.1%) ・ 経常収支比率 100%以上

図表7 財源目標の設定

6 経営健全化の取組み【第6章】

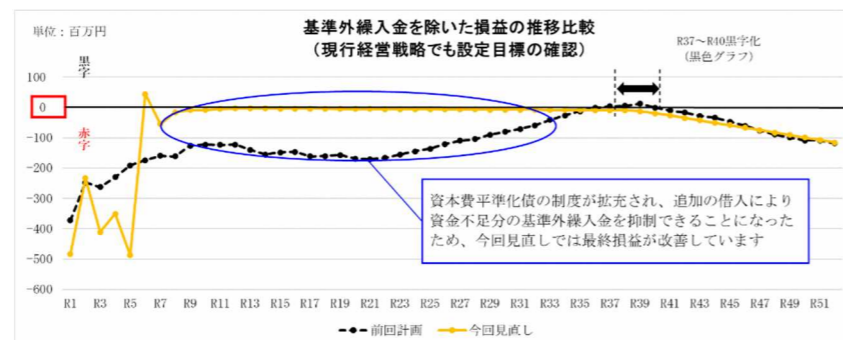
経営健全化に向けた取組み

汚水処理原価の維持管理費は直近5年間(R2～R6)の実績に比べて向こう10年間(R8～R17)で約20%増加する見込みですが、農業集落排水から公共下水道に接続する経営の効率化を進めることで、約4.8%の費用上昇を抑制できる見込みです。

前回目標の達成状況

前回の米原市下水道事業経営戦略では、基準外繰入金への依存傾向が強いという経営課題があったため、向こう50年間で基準外繰入金を入れなくても一度は黒字転換していくことを目標とし、その達成に必要な最低限の改定率として10%増改定することとしました。

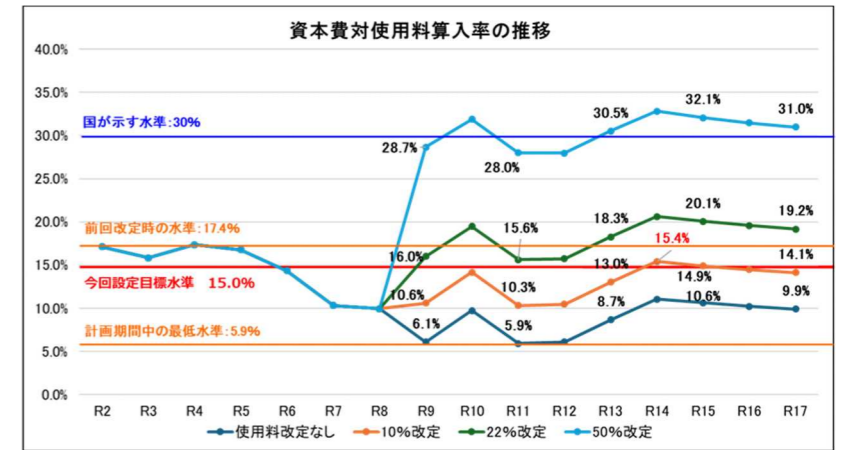
今回の下水道事業経営戦略を策定するに当たり、前回の目標の達成状況を確認したところ、令和6年度の資本費平準化債の制度拡充により、これまでの経営課題であった基準外繰入金への依存は解消し、当面の間、基準外繰入金を入れなくても損益計算上で赤字になることはない経営状態となる見通しとなりました。



図表8 基準外繰入金を除いた最終損益の推移比較

新たな目標の設定：資本費対使用料算入率

これまでの取組みにより、基準外繰入金を削減することができましたが、近年の物価高騰などの維持管理費の増大に対して、下水道使用料を据え置いたままにしていると、再び、基準外繰入金に依存しないと下水道事業経営が成り立たなくなるリスクは残っています。そこで、資本費対使用料算入率という指標を新たに管理していくことにより、再び、基準外繰入金に依存することなく安定した下水道事業経営基盤を確保していくことを目標にすることとし、その目標達成に必要な下水道使用料の水準について米原市下水道事業審議会にて検討しました。



図表9 資本費対使用料算入率の推移(使用料改定パターンごと)

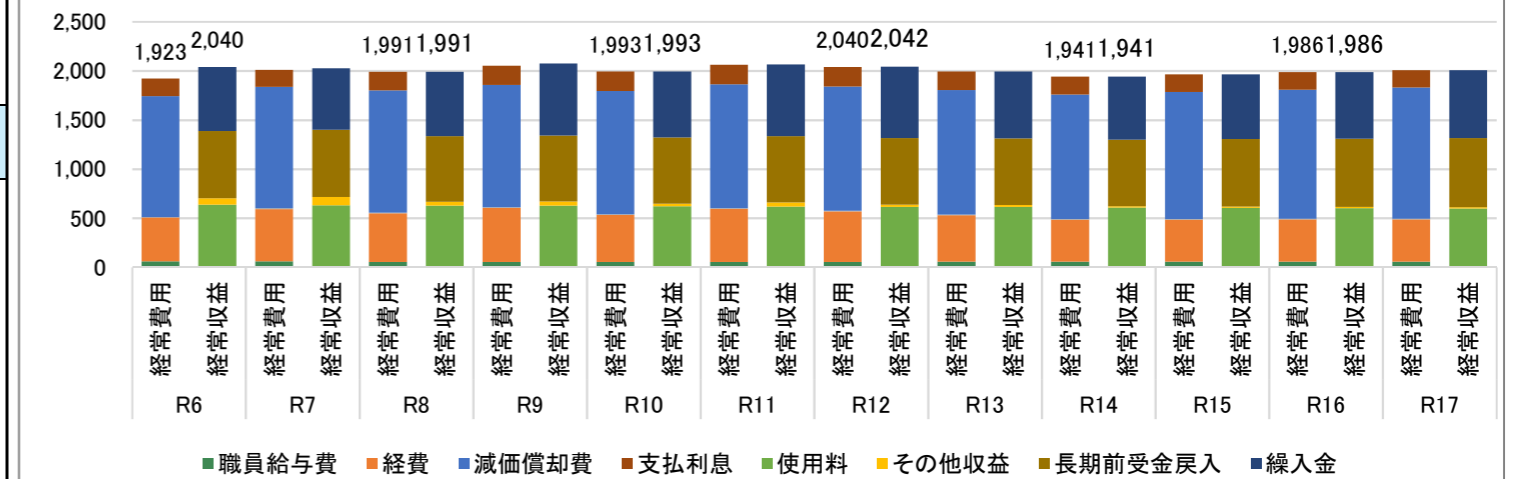
その結果、資本費対使用料算入率は、向こう10年間(R8～R17)の投資・財政試算で想定している維持管理費の増加見込額2億円(資本費の15%程度)を基準に使用料収入を確保することを目標とし、その目標を達成するために必要な使用料の水準として10%改定を審議会からの答申に採用することになりました。また、使用料体系については、審議会にて検討した結果、現行使用料体系を元にして一律10%増の改定とする答申を採用することに決定しました。

7 投資・財政計画【第7章】

〈全事業合算(公共下水道事業・農業集落排水事業)〉

本計画期間を通じて、一般会計繰入金もあることから経常損益は概ね均衡し、最終損益が赤字となることは見込まれません。

単位:百万円



図表10 経常費用及び経常収益の推移

8 点検・進捗管理の方法【第8章】

経営戦略に基づき計画的に事業運営をしていくため、毎年度目標指標の達成状況を把握することで進捗管理を行います。

また、5年に一度経営戦略における投資・財政計画と実績との乖離およびその原因を分析し、PDCAサイクルを継続し、目標の達成状況や見直した経営戦略を市民の皆様公表します。



図表11 PDCAサイクルのイメージ